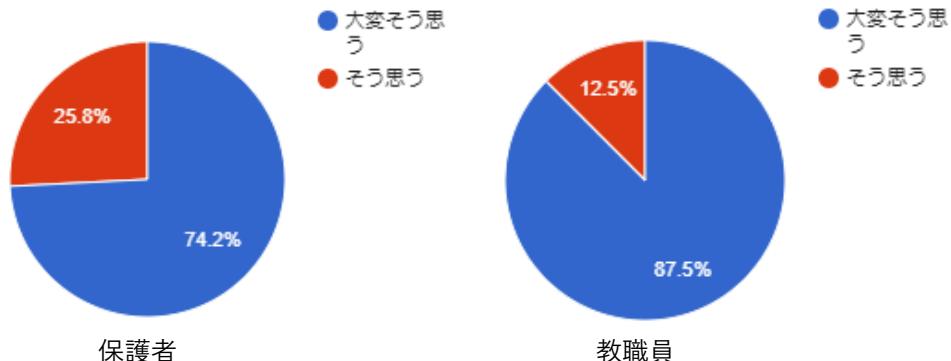


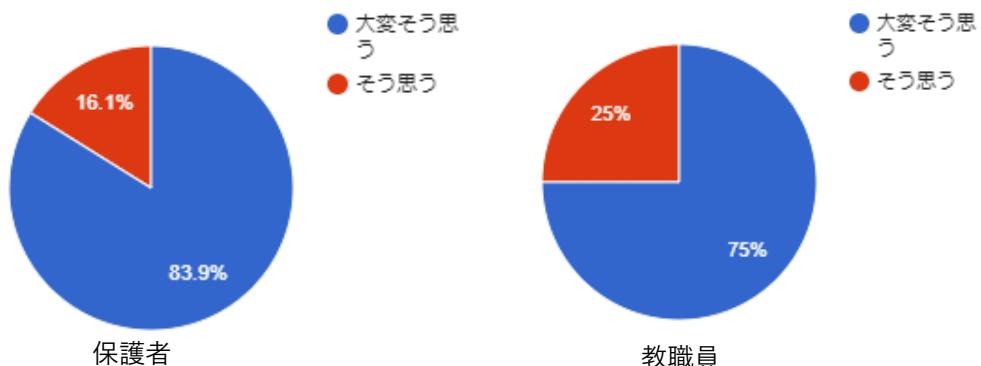
## 令和6年度 保護者、教職員アンケート集計報告(前期)

### 1. 子どもは、安心して幼稚園に通い、遊びや生活を楽しんでいる。



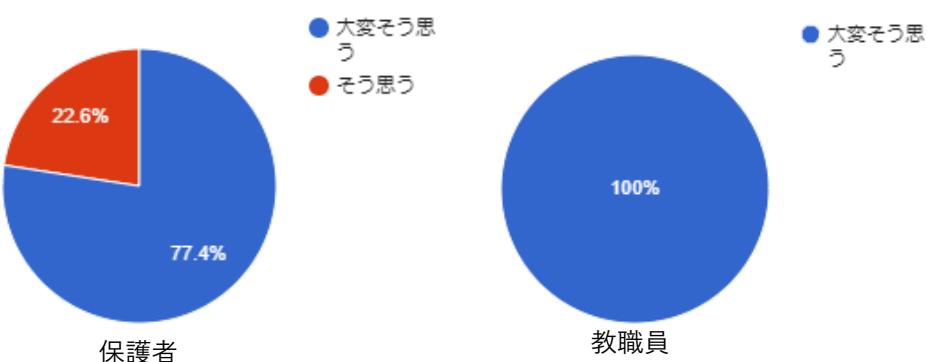
概ね「大変そう思う」と答えている一方で、昨年度の前期に比べると、「そう思う」の割合が増えている。新しい環境、人間関係の中で、戸惑いや緊張、不安な気持ちがまだ残っている子どもがいることがうかがえる。後期は、前期以上により一人一人に丁寧にかかわり、居心地よく、安心できる人間関係のもと、子どもたちが遊びや生活を夢中になって楽しめる場となるよう、環境・援助を工夫していきたい。

### 2. 子どもは、体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。



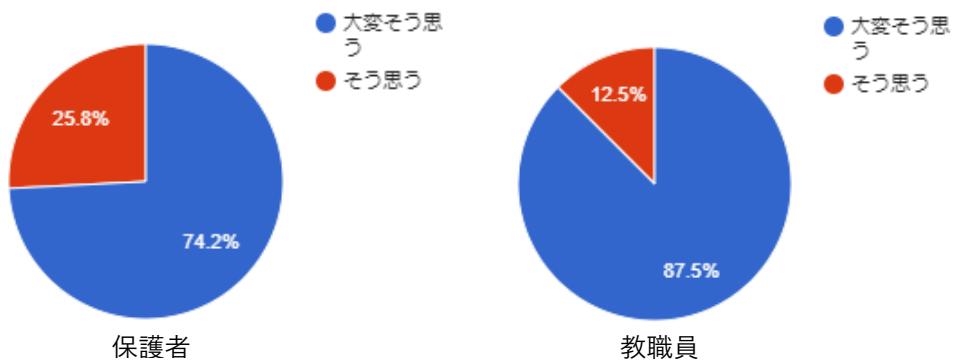
保護者の「大変そう思う」が概ね多いのは、広い園庭のある特色を活かし、総合遊具や乗り物、泥砂土などの遊び、また遊戯室で運動遊具を使ったり、しっぽ取りや帽子取りなどの運動遊びを楽しんだりしてきたことの評価だと捉えられる。一方で、教職員の評価が保護者よりも低いのは、全身で絵の具遊び、土粘土遊びなど様々な素材に触れ感触を全身で味わえる遊び、総合遊具や四肢を十分使った遊びの経験をもつとできたのではないか、という反省からの評価ともいえる。後期は継続して運動的な遊びを取り入れ、しなやかな心と体の育成を図ると共に、素材に触れて遊べる環境も意識していきたい。

### 3. 子どもは、先生や友達とかかわることを楽しんでいる。



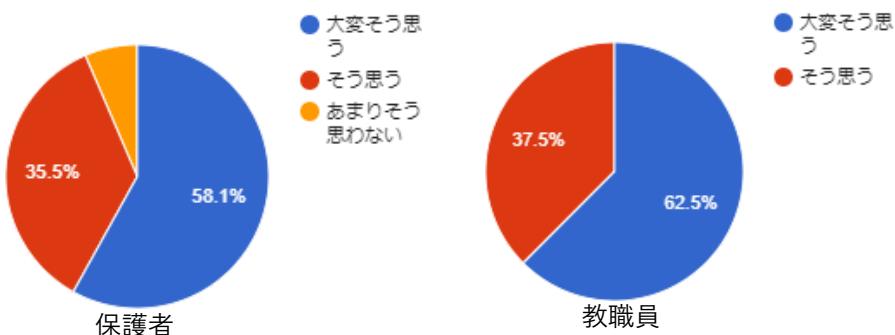
保護者の80%近くが「大変そう思う」と評価している。これは、概ね、園内の教職員や友達に対して、安心感や親しみをもっているということのあらわれであると考える。教職員はさらにそれを強く感じている。一方で、先生や友達とのかかわりの中で、戸惑いが緊張、葛藤など心の揺れなどを感じている子どもがいることがうかがえる。引き続き後期も、子ども一人一人が、園内の様々な人に安心感、親しみをもってかかわっていけるような雰囲気づくり、個々の子どもの姿を教職員全体で見守り、育ちを共有していく体制を心がけたい。

4. 子どもは、幼稚園の遊びや生活の中で、感じたり、気付いたり、考えたり、試したりすることを楽しんでいる。



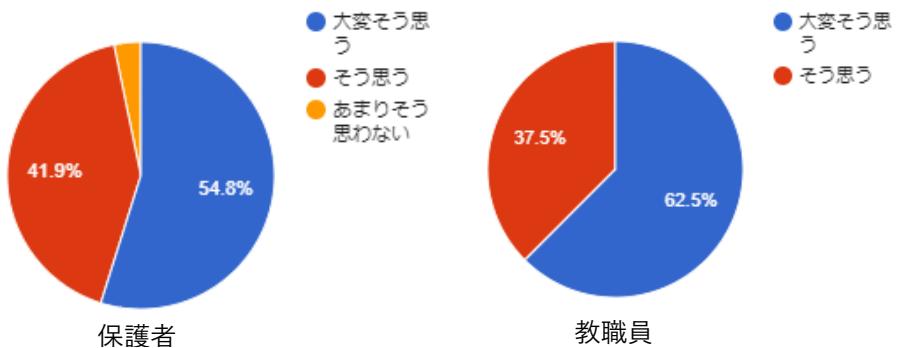
今年度新たに増やした項目である。今年度は、「心を動かし、夢中になって遊び込む保育を創る～子どもの気付きと10の姿との関連に着目して～」という園内研究テーマを掲げ取り組んでいる。概ね、子どもが幼稚園生活の中で、いろいろな気付きや試行錯誤をしながら楽しんでいるとの評価であった。若干、保護者と教職員との評価に差があるのは、日々の子どもの気付きの発信が、まだまだ足りないとの現れでもあると捉える。後期も、子どもが心を動かし夢中になれる環境、援助を考えながら保育し、保護者への発信も積極的に行っていきたい。

5. 子どもは、感じたり、思ったりしたことを様々な方法で表そうとしている。



昨年度の前期に比べると、「大変そう思う」の割合が若干増えている。とはいえ、保護者の「あまりそう思わない」の評価もあることから、人とのかかわりの中で、もっと感じたり思ったりしたことを、周囲にわかる表し方で表現してほしいという保護者の願いが伺える。教職員もまだまだそれを願っている。今、一人一人に育っている力、育とうとしている力はどこかをその子なりの姿から読み取り、一人一人の育ちや課題に応じたかかわりを、保護者と共に考え、支えていきたい。

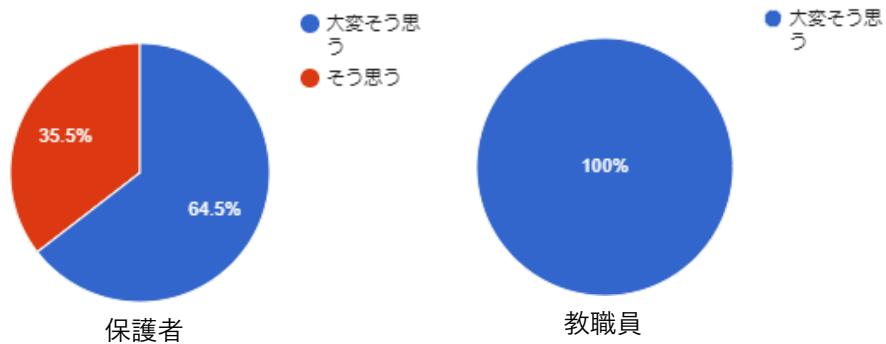
6. 子どもは、自分の思いを話したり、先生や友達の話を興味をもって聞いたりしている。



保護者は「大変そう思う」と言い切れない思いや、「あまりそう思わない」と感じる評価もあった。これは、もっと自分の思いを出してほしい、もっと友達の話を聞いてほしい、という保護者の願いでもあると思われる。教職員の方も、個々に対して、まだ十分思いを出し切れていないのではないか、もっと自分の思いを十分出し切れるのではないか、と現状と可能性とを感じている。

後期も、保護者の思いを丁寧に受け止め、子どもたちの育ちに向けて一緒に取り組んでいく姿勢をもち続けると共に、個々に合うかかわりを、教職員全体で探し共有していきながら、のびのびと思いを表現できる雰囲気をつくっていきたい。

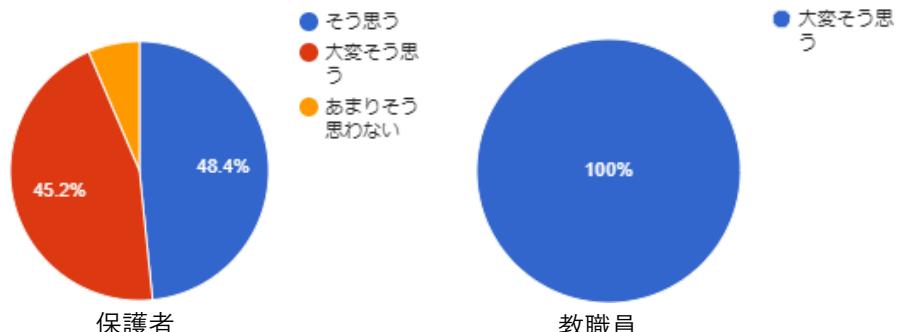
7. 子どもは、自然とのかかわりや飼育、栽培活動を楽しんでいる。



自然に焦点を当てて研究に取り組んできた昨年度に比べて、保護者の評価が低くなっている。また教職員の評価との差も感じられる。今年度は、竹林の整備活動の保護者参画も新たに行うなどして発信をしてきたが、生き物とのかかわり、苗屋さんや個人栽培などの取組など力を入れて取り組んできたことや、そこでも子どもたちの興味や育ちなどの発信などが、もっと必要だったと感じる。

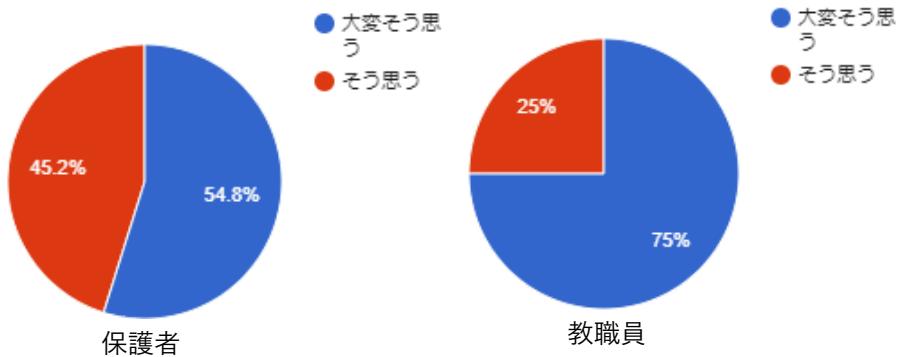
後期は、地域の園外保育等も増えてくる。引き続き地域で出会う自然に心動かし、地域の自然を園内での遊びに取り入れていきながら、子どもの学びや育ちにつなげていけるよう取り組んでいきたい。

8. 子どもは、幼稚園 きょうだいを知り、親しみを感じている。



この項目の保護者の評価は、4・5歳児共に、個人差が結果に表れているようにも感じる。また教職員による評価が高いのは、子どもによっていろいろなかかわり方はあるが、一人一人のその子どもなりの親しみを読み取っていることの表れであると捉えるが、保護者との評価の差があるため、まだまだ発信が十分できていないと反省する。後期は行事も多く、1学期以降にかかわり合う機会を出てくる。取組の意義や成果、子ども同士の変化などを逃さず見取り、また保護者に発信することを心掛け、幼稚園きょうだいが互いに思い合えるような環境、かかわりを進めていきたい。

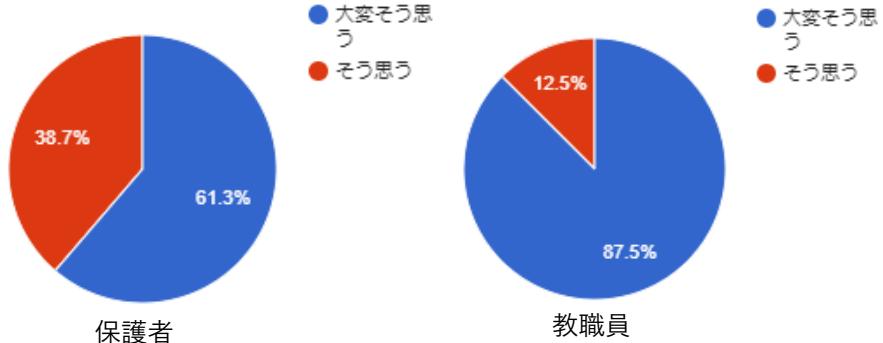
#### 9. 子どもは、幼稚園で絵本を見たり、お話を聞いたりすることを楽しんでいる。



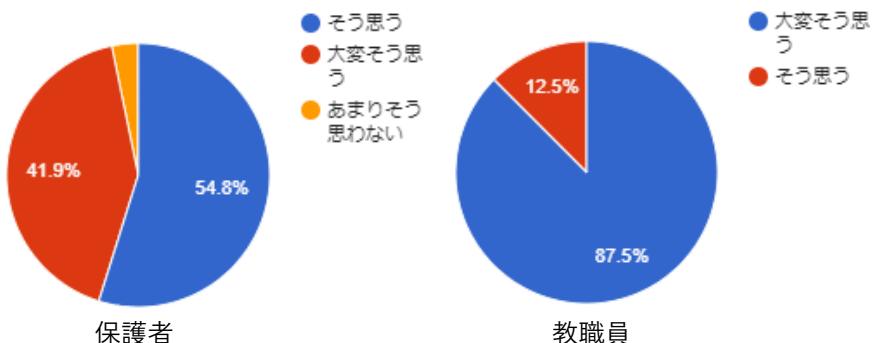
保護者は、概ね、楽しんでいると評価するも、個人の興味の差もあると考える。教職員は、保護者の評価よりも高い評価となつたが、まだまだ、継続して毎日いろいろな絵本に会える環境が十分にとりきれていないところも課題である。

後期は、クラス全体が興味をもてる環境とクラスで絵本を楽しむ時間の保障を意識したい。また、毎週の絵本貸出の成果について、よく検討し、発信や取組の改善もさらに見直していきたい。

#### 10. 子どもは、園外保育を通して、深草地域の様々な場所や自然を知ったり、興味をもったりしている。

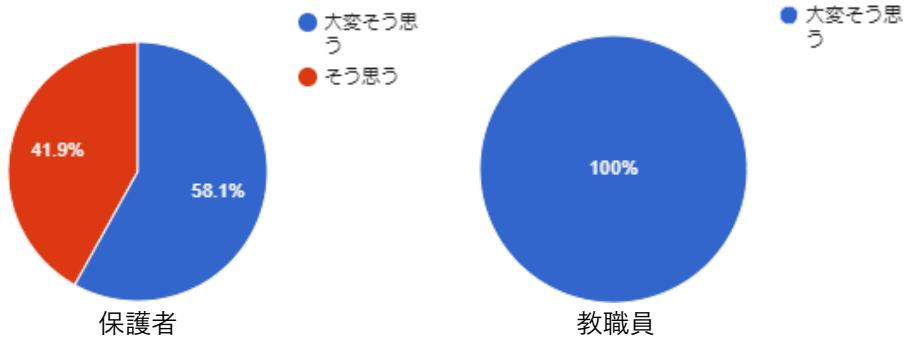


#### 11. 子どもは、深草地域のいろいろな人(なかよし会・竹林・科学センター・小中学校などの人)に興味をもってかかわっている



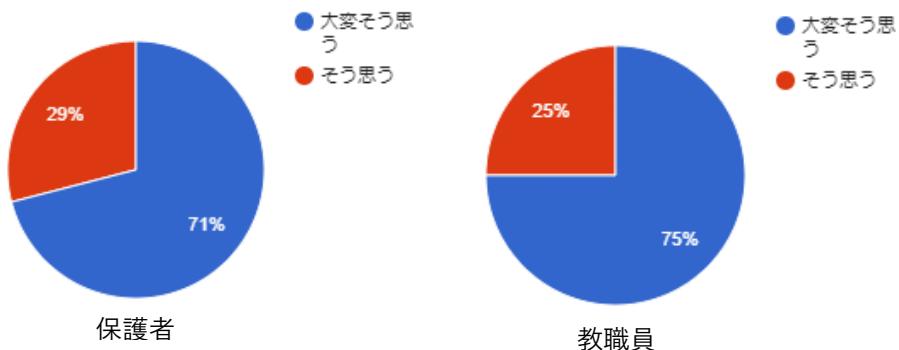
15も合わせて評価を見ると、保護者と教職員の評価に違いが出ている。実際に地域の方と携わっている教員、またその様子をそばで見ている職員は、地域との連携の取組を実感していると捉えているが、保護者としてみると、教職員の評価ほど高くないということは、保護者への発信がまだ不十分ということだろう。後期は、今まで以上にHP、降園時、お便りや懇談等での具体的な取組の発信を心がけていきたい。また、近隣の保小中との連携をより深めていくために何ができるかを探り、工夫していきたい。

## 12. 幼稚園は、一人一人の子どもを大切にした保育を行っている。

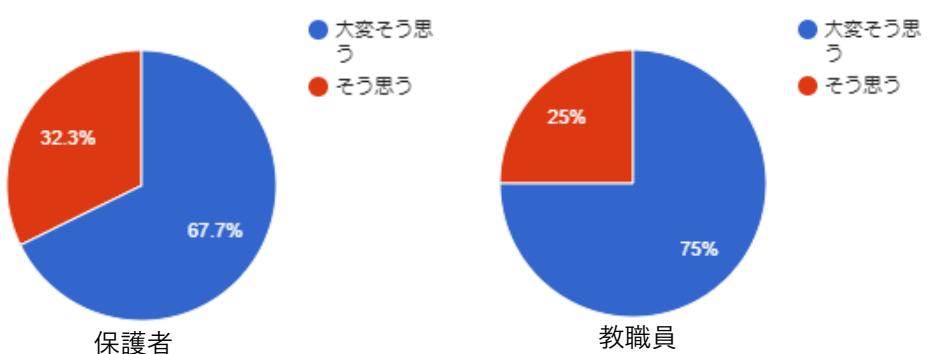


概ね評価はするものの「大変そう思う」と言い切れない保護者の思いも感じる。また教職員と保護者の評価の違いを大きく受け止め、後期はより一層きめ細やかに一人一人の子どもの表情や胸の内に寄り添うこと、同時に、保護者の願いや思いに寄り添えるよう、かかわっていくことが、一人一人の子どもを大切にした保育につながると感じる。

## 13. 幼稚園は、子どもが心を動かし、夢中になって遊び込める環境を工夫している。

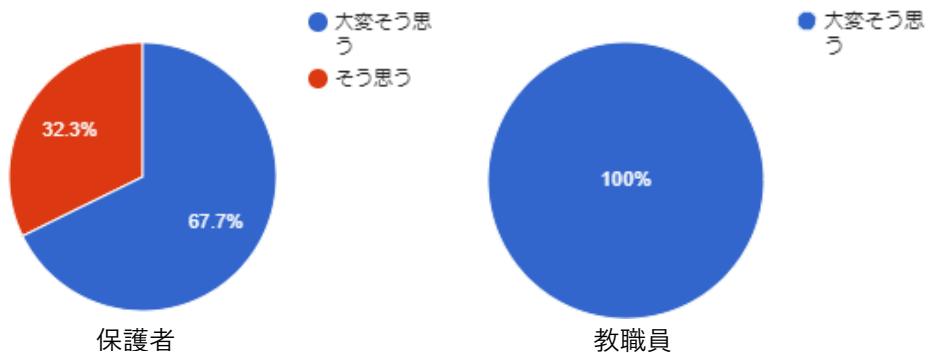


## 14. 幼稚園は、子どもが様々な素材や環境に触れ、遊ぶ機会を設けている。

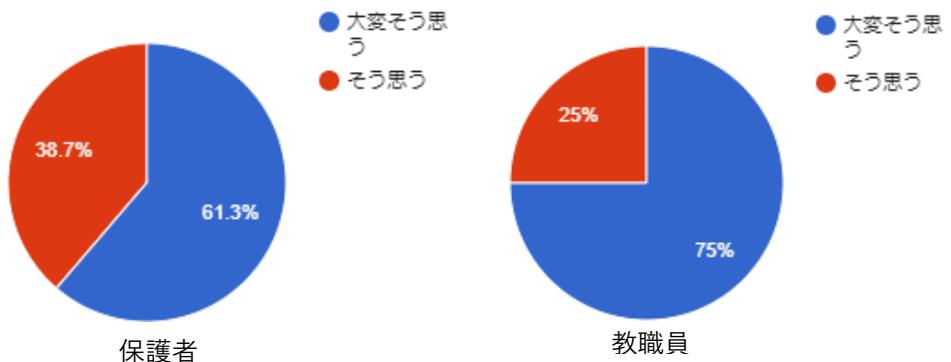


先述したように、今年度は「心を動かし、夢中になって遊び込む保育を創る」という園内研究テーマを掲げて取り組んでいる。概ね評価を得ているが、まだまだ環境の工夫の余地を教職員は感じており、保護者もそれを望んでいると捉える。後期は行事も増えてくる。より一層、夢中になれる環境を工夫し、保護者に発信していきたい。

15. 幼稚園は、深草地域のいろいろな人とのつながりがもてる機会を設けている。

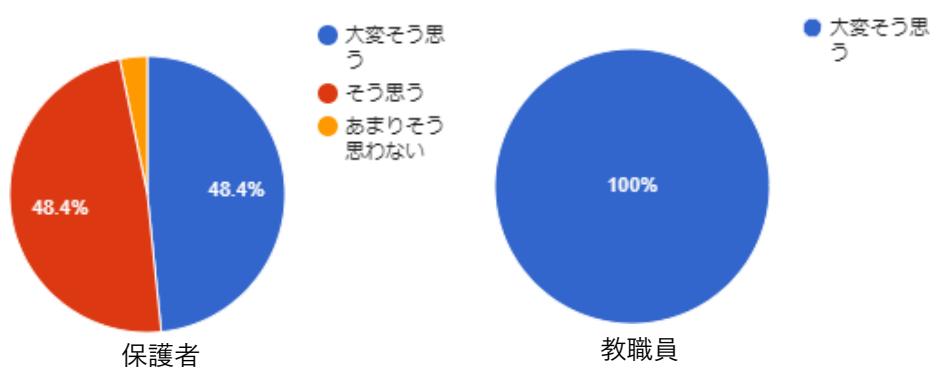


16. 幼稚園は、毎日の降園時の伝達や、毎月のふかふか広場(前月の子どもの姿、翌月の保育のねらい、内容を掲載したおたより)などで、日々の幼稚園での子どもの遊びや生活の様子、学びなどをわかりやすく発信している。



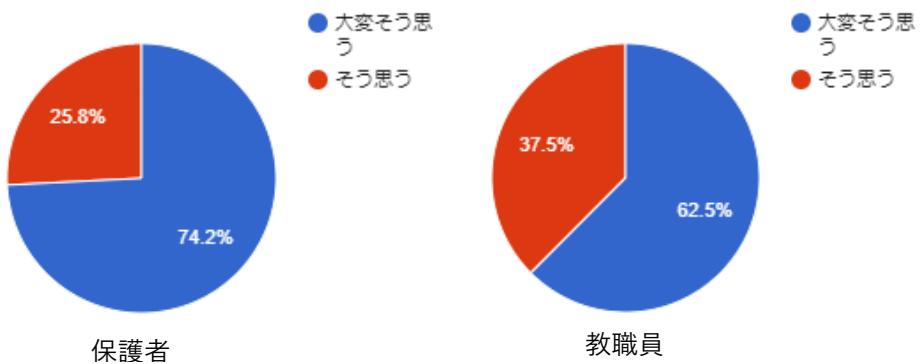
わかりやすさ、というところを保護者はより望んでいるし、教職員もまだまだよりわかりやすい発信の必要性を感じていることの現れであると捉える。直接顔を合わせて話す機会がもてる降園時、詳しく育ちや学びが伝えられるおたよりなど、それぞれの発信の良さを感じながら、後期はより、わかりやすい発信をもう一度見直していきたい。

17. ホームページやインスタグラムは、日々の幼稚園教育の発信となっている。



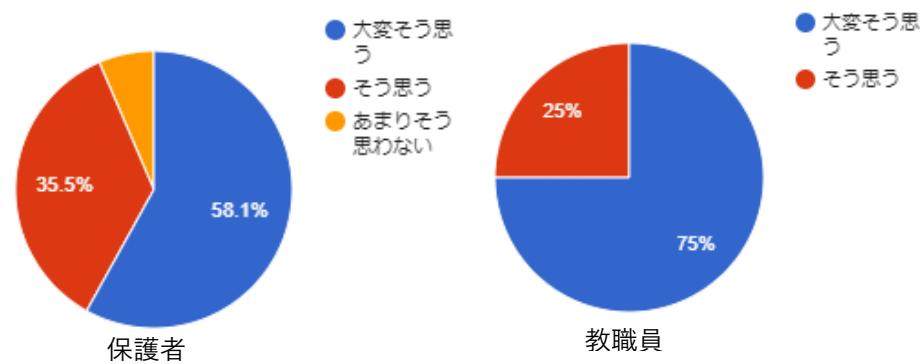
ここでも保護者と教職員との評価の違いを大きく受け止めるべき項目である。教職員がHPやインスタグラムは日々の発信となっていると捉えていても、保護者には「大変そう思う」とは言い切れない、また「あまりそう思わない」と感じる要素がまだまだあるということである。その要因について、もっと保護者の思いを聞き、参考にしながら、後期はより有効なSNS発信を見直し取り組んでいきたい。

18. 各クラスの連絡ボードは、日々のクラス活動や翌日の準備物などを把握するのに、役立っている。



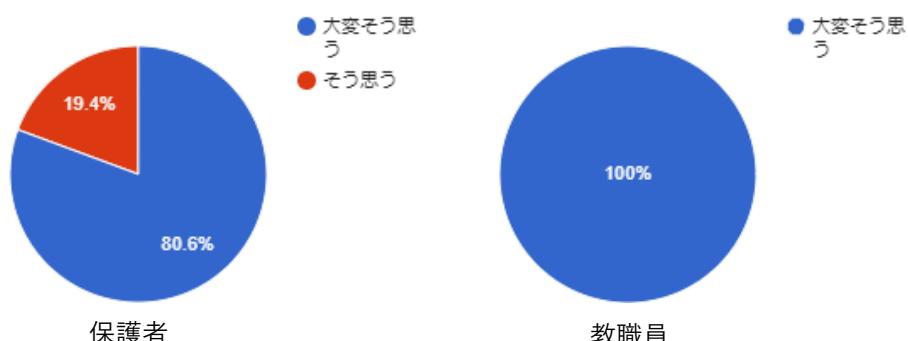
ここでは逆に、保護者が概ね役立っていると感じる中、教職員の方にはこれでよいかという迷いもあることがうかがえる。後期も内容も検討しながら、公立幼稚園の良さである、直接保護者と毎日顔を合わせて話す、という点を大事にしながらも、連絡ボードでの正確な伝達の周知と、保育の発信を探っていきたい。

19. 子どもは、ふかふかランド(預かり保育)に安心して参加している。



ある程度の子どもが安心して参加しているという評価であるが、「あまりそう思わない」評価も複数あった。通常保育後の時間帯であることも踏まえ、疲れを考慮して安全を第一に考えながらも、後期は、より毎日の預かりの時間を楽しみに参加できるような環境、安心できる居心地がよい雰囲気、保護者の就労等や家庭事情に寄り添える場となるよう、遊びの内容や場づくり、教材選びなどを工夫していきたい。

20. 未就園3歳児の預かり保育や、8時から18時までの預かり保育は、子育て支援につながっている。



今年度から始まった未就園児3歳児クラスの預かり保育の利用者が一定数いることからも、今回の評価からも、未就園児の預かり保育、早朝、夕方の預かり保育共に、子育て支援につながっているという評価を保護者から得ており、教職員もそれを実感している。後期も親子共に安心安全につとめ、保護者のニーズにこたえていきたい。

## 21. 1学期を振り返られて、お感じになられたこと等ございましたら、ご記入ください。(一部抜粋)

- 家庭ではできない体験をたくさん見せ、させていただいていると感じています。またそれだけでなく、様々なお友達との関わりの中での自分とはと考えることを、親子させていただきました。とても丁寧に教職員の方々が背中を押したり、守ってくださるので、家庭でも安心して親子で話すこともできています。好奇心や挑戦する気持ちを高める声かけを常にされているので、後ろ向きな姿を見ることが減りました。
- 昨年 1 年間と比べて大きく成長したように感じます。例えば行事などにおいて、なぜそれをするのか、どういう意味があるのか、などを理解し取り組んでいるのを日々の会話の中で感じました。苦手なことにも諦めずチャレンジし、上手く行った時には真っ先に伝えてくれる姿を見て、毎日頑張っていたんだなと嬉しく感じると共に成長も感じました。
- 子供達は先生を信頼し頼りにしていることが幼稚園に帰ってきて話す中で凄く伝わってきています。いつも楽しいことを工夫をこらし保育して下さりありがとうございます。先生達が頑張って下さってるから私も少しずつ社会復帰できていて嬉しくおもいます。
- できなかつことができてきて、本人の自信につながっているのをすごく感じます。きっと、先生方が子供と上手に関わって背中を押して下さってるんだろうな、と思います。毎日プールがあるのも喜んでいます。
- カミキリ虫の飼育を通して、観察して気づくこと、色々な餌を試したり考える力が育まれていると感じます。プールに潜ることも楽しみながら取り組めて慣れてきました。幼稚園で以前よりも自分の思いを発言したり、状況に応じて、自分で考えて行動できる力が少しずつついてきましたように感じます。
- 幼稚園が大好きで本当に毎日いい刺激をもらっているんだなと日々感じています。
- 今まで限られた子と関わることが多かったですが、たくさんのお友達と積極的に関わるようになり、自分の思いを口にすることができるようになったことに感動しています。息子の元々持っている長所の部分を引き伸ばして、短所の部分も自分で上手にコントロールできるようになってることも感銘を受けてます。
- お友達に触発されて新しい遊びをしてると感じています。特に虫に興味があって、幼稚園で虫を捕まえたり、観察したり、本を読んだりしてると本人が教えてくれました。大きいプールにたくさん入れて喜んでます。
- いつも自然に触れる体験をさせていただきありがとうございます。特にカミキリムシの話には感心してばかりです。他にも色々な体験や経験を重ねて自信にも繋がってます。心も体もたくましく育ってます！ありがとうございます。
- 毎日楽しく幼稚園に通っていて、その日あったことをたくさん話してくれています。お友達と遊んだり、野菜を育てたり、プールをしたり…色々なことを全力で楽しんでいて、毎日本当に楽しです。色々と心配な入園でしたが、良い環境に恵まれて楽しく過ごせていることに感謝しています。
- そら組の 1 学期間で子どもの成長をとても感じます。例えばプールで顔をつけたり、自分に水がかかったりする事にすごく嫌がっていたのが、嫌がらなくなったり。食事で野菜が出た時に、見ただけで拒否していたのが、一回 1 口だけ食べてみようかなという気持ちになれるようになった。など、色々なことが少しずつ出来るようになってきています。ありがとうございます。
- 深草幼稚園の先生方は毎日とても熱心に保育してくださっているのが本当に嬉しいです。時には母親より子どもの事を理解されていてビックリすることがあります！先日の特別保育では、子どもは宝探しが楽しかったと言っていました。花火も噴上花火は家では出来ないので見れて良かったです。

○子どもたちの成長に感謝したいと思います。短期間で新しい社会に慣れながらスキルアップを図る意欲がとてもありがたかったです。とても喜んで幼稚園に行き、幼稚園で起きていることを家でも教えてくれます。

○先生方の創意工夫で息子は毎日大変楽しく、園生活を送り、豊かな経験をさせてもらい、日々ぐんぐん成長している姿を目の当たりにさせてもらっています。

○周りにはたくさんの大や友達がいること、安心感などに気づきのびのび生活できました。

そこに先を見据えてメリハリが加われば最高だと思います

○子ども達のやってみようという挑戦心や意欲が沸くような肯定的な言葉かけをしてくれており、竹馬でも高さを上げたりと物怖じせず色々なことに挑戦させてもらっていて、成功はもちろんだが失敗もたくさん経験できてありがとうございます。

○想像力を広げていくような、それってなんで?という言葉かけや関わりがあり、なぜを考えてみると子ども達の想いを大切にしてくれているなど日々感じています。

○地域との関わりや繋がりを大切にされていて、竹林での活動やなかよし会の皆さんとの関わりなど、色々貴重な体験をさせていただけて、その体験や関わりが子ども達にとっていい経験になっていると感じます。特に竹林での関わりは、なぜなぜ?や、じゃあやってみよう!というお題が絶えなくて、子ども達にとっても、親にとってもいい刺激になっています。地域の方々への苗屋さんのお知らせでは、メールなどで手軽に連絡をとることができる今でも、子ども達の気持ちやその子らしさが伝わりやすく、それだけの手間と時間がかかるっている想いや温もりが相手にも伝わる手紙という方法をとり、子どもたちの想いを大切にしてくれており、人とのコミュニケーションの大切さも教えてくれているなど感じます。

○日々の連絡ボードや担任による伝達では、その日行った事を事細かく、子ども達の反応も交えて話してくださるので、子ども達の様子をとてもイメージしやすく、家の会話も広げやすいです。何より、楽しんでいる様子や子どもたちが今何にワクワクしているのか、何に関心を持ってどんな活動をしているのかなど、園での様子が詳しく聞けて本当に嬉しいです。

○どの先生方でも、子どものその日のエピソードや気づいたことがあったらお話して下さり、クラスや担任などを超えて、園全体で子ども達をみてくれていることをとても感じています。

○幼稚園兄弟の取り組みについては、実際に下の兄弟がいなくても、年長である今、年中、ひよこ組の面倒を見なきゃという責任感が出てきていて、本当にいい経験だな、いい取り組みだなと思います。

○プールの準備体操を参観させてもらっているときに短い体操の時間の中にも体操の役割、リズム、バランス、おそらく他にもいろいろな要素が含まれてるのを感じほんとに一つ一つの活動にたくさんのこと組み込んで下さっているのだな、と感じました。なにより子どもたちが皆楽しそうに活動していたので成長と喜びを感じるとともに良い園生活を送らせてもらってるんだなと嬉しくなりました。

子どもたちが楽しいだけでなく安心安全に園生活を送れるように、また保護者が安心して預けられるよう、日々考えながらそれぞれの子どもの姿を捉え成長を支えていただき本当にありがとうございます。

園での子どもの姿、活動や配慮のねらいや目的を詳しく伝えていただくことでより園での活動への理解が深まったり、家の関わりにつなげていけるよう心がけたりすることができるような感じがしています。

私自身、園生活を受けての子どもの家の様子や出来事など伝えようと思いながらもすぐに忘れてしまったりするのですが、コミュニケーションを密に取り合いながらともに育ちを支えてもらえるのは育児する上で大きな力になっています。